

ミュージカル

バウムクーヘンとヒロシマ

第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞受賞

原作= 栗山ひろみ (くもん出版刊)

ふたつの戦争を越えた
バウムクーヘンの夢がつかぐ
あしたへのグレートジャーニー

絵・題字 © 銀杏早苗

2023年初演舞台より

広島に住む小学生、颯太は夏休みに似島(のしま)で行われるピース・キャンプのチラシを受け取り、キャンプに参加したくてたまりません。なぜなら颯太は、大好きなおじさんがいつもおみやげに持ってくるバウムクーヘンが好物で、キャンプはバウムクーヘン作りが体験出来ると書いてあったから。そして、颯太は似島でキャンプに参加し、日本で初めてバウムクーヘンを作ったドイツ人捕虜、カール・ユーハイムの事を知ります。それは100年以上も前、颯太のひいおじさんが子どもの頃のお話でした……。

第68回産経児童出版文化賞産経新聞社賞を受賞した、栗山ひろみ原作の「バウムクーヘンとヒロシマ」をミュージカル化。似島を訪れた小学生の颯太が、日本で初めてバウムクーヘンを作ったカール・ユーハイムのことを知り、平和の尊さを学んでいく物語です。カールがバウムクーヘンに託した夢がつかぐ幸せのボタン。このミュージカルを見たらきっと、あなたもバウムクーヘンが食べたくなる！

